

平野家(小谷家)文書 調査活動の経過

2018年度

- 12月 明治期に南房総から渡米した鮑漁師のリーダーである小谷(平野)仲治郎旧宅(大正3年建築)の解体にあたり、管理者の許可を得て室内を調査
- 1~3月 襖の下張りから貴重な古文書を発見。明治期の書簡、勘定書類、契約書など貴重な資料が多数。
→日本側での小谷兄弟に関する資料が少なく、古文書の解明により、これまで知られていなかった渡米以前(明治初中期)の小谷兄弟のことや安房地域の水産業の様子、渡米の背景が明らかになるのではないかと。

2019年度 *南房総市市民提案型まちづくり事業1年目

- 4月~ 本格的に古文書調査開始、古文書の分類
- 8月 古文書の発見と調査活動について報告(南房総歴史フェスタ・千倉アワビ街道ウォーキング)
- 9月 台風15号(令和元年房総半島台風)により、古文書を保管していた建物が全壊。
水没した古文書を回収し、乾燥・汚れを落とす作業。
一部はカビの繁殖を防ぐために冷凍保管し、半年後、専門家の指導で原状回復。

2020年度 *南房総市市民提案型まちづくり事業2年目

- 4月 古文書調査再開 <分類・封入・解読・入力・添削・データ化・目録作成・内容調査>
- 7月 新たな襖から古文書を取り出す。古文書の内容理解を深める学習会開始。
- 11月 古文書調査の途中経過を報告(寺子屋講座&千倉アワビ街道ウォーキング)
- 2月 古文書調査の途中経過を報告・レポート作成(歴史教育者協議会千葉県集会・エコレポ)
「房総アワビ漁師移民の渡米以前を読み解く～台風被災からレスキューした古文書の調査」

2021年度 *南房総市市民提案型まちづくり事業3年目

- 4月~ 古文書調査・古文書学習会
- 11月 古文書調査から明らかになってきたことをパネルにまとめて展示・解説
(南房総市文化祭・千倉アワビ街道ウォーキング)
- 1月 古文書パネルおよび米国側提供資料の展示・解説(ギャラリー&スペース MOMO)
- 2月 調査報告書作成「明治期に渡米した鮑漁師たちの源流～源之助・仲治郎兄弟と金澤屋の人びと」
日米 ZOOM 交流にて古文書調査の報告をし、今後の共同研究に向けて情報共有。

平野家(小谷家)文書目録 (2022.2.28 現在)

A 書簡	387
B 契約書	8
C 送り状	12
D 勘定書	103
E その他	17
合計	527

※書簡類の解読はほぼ完了したが、解読が難しい勘定書類がまだ多く残っている。
引き続き、地道に解読やデータ化を進める。

古文書とその内容を裏付ける多方面からの調査により、小谷兄弟の渡米以前の様子が見えつつあり、渡米に至る経緯が明らかになってきている。